

4 中央地域

(1) 現況と課題

■ 現 況

- ・中央地域は、国道2号や国道43号などの広域的な幹線道路が横断するとともに、JR、阪神、阪急の各鉄道駅が設置された交通利便性の高い地域です。
- ・JR芦屋駅を中心に本市の中心市街地が形成され、商業・業務施設などが集積し、本市の活力創出を先導しているとともに、阪神芦屋駅、阪神打出駅、阪急芦屋川駅周辺においても商店街など、商業施設が立地しています。
- ・また、市役所をはじめ、消防署や警察署、市民センター、図書館、美術博物館などの公共公益施設が数多く立地しています。
- ・中心市街地にある中で、街路樹や芦屋川・宮川沿岸の緑、緑地、緑道が整備されているほか、民有地などの緑と合わせて、緑豊かな芦屋を印象付けています。
- ・このほか、国の文化財に登録されている芦屋仏教会館や旧芦屋郵便局電話事務室（芦屋モノリス）、旧芦屋市宮宮塚町住宅などの歴史・文化的資源、芦屋公園のクロマツ林など、昔ながらの風情を感じさせる景色も見られます。

■ 課 題

- ・中央地域は、本市の中心市街地としての都市活力の創出や、潤いや安らぎが感じられる市街地景観の創出など、市民との協働により魅力あるまちづくりを進める必要があります。
- ・特に、芦屋川沿いからJR芦屋駅及び阪神芦屋駅にかけての一带では、既存の商業地と歴史・文化的資源の集積を活かした魅力向上やにぎわいの創出を図る必要があります。
- ・JR芦屋駅南地区の市街地再開発事業を推進するとともに、その他の鉄道駅においても、鉄道や路線バス等の利便性を高めるため交通結節機能の向上を図る必要があります。
- ・都市計画道路の未整備区間における交通の円滑化や防災機能の向上に資する路線の整備に取り組む必要があります。
- ・道路や公園などの公共空間、市役所や駅などの公共公益施設は、バリアフリー化など利用のしやすさに配慮した環境づくりを進める必要があります。
- ・道路や橋梁、上下水道などの都市施設、集会所や文化施設などの公共施設については、老朽化等に対応した適切な維持管理を図る必要があります。

(2) まちづくりの方針

1) 都市の活力とにぎわいを創出するまちづくり

・都市核や地域核に位置付けられる鉄道駅周辺の活性化を図るとともに、歴史・文化、河川などの地域資源を活かし、本市の中心市街地にふさわしい活力とにぎわいの創出を図ります。

2) 安全で快適な都市基盤の形成

・中心市街地における都市活動や人々の往来を支えるため、交通の円滑化や防災性の向上などを図るとともに、人にやさしい安全で快適な都市基盤の形成を図ります。

3) 個性と魅力ある都市空間の形成

・良好な市街地景観や歴史・文化的資源などの保全を図るとともに、河川や公園・緑地、街路樹、民有地の緑などによる、潤いある街並みの保全を図り、個性と魅力ある都市空間の形成を目指します。

1) 都市の活力とにぎわいを創出するまちづくり

①地域特性に応じた都市機能の充実

- ・中心核に位置付けられる JR 芦屋駅周辺では、市街地再開発事業による土地の高度利用や交通結節機能の強化、にぎわいの創出などにより、本市の顔にふさわしい魅力的な都市空間の形成を図ります。
- ・地域核に位置付けられる阪神芦屋駅周辺、阪神打出駅周辺、阪急芦屋川駅周辺においても、交通結節機能の向上や地域の魅力づくりなど、身近な市民生活の拠点としての機能の維持・誘導を図ります。
- ・国道 2 号や国道 43 号、芦屋中央線、稻荷山線、宮川線などの幹線道路では、交通利便性を活かして商業・業務系施設の立地を許容し、地域特性に応じた沿道利用を図ります。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

土地利用_住居系

土地利用_商業系

交通・都市施設等_(2)交通結節点の整備方針

都市景観_(2)市街地景観の保全・形成

②地域資源を活かしたまちづくり

- ・ヨドコウ迎賓館及び芦屋川沿いから JR 芦屋駅及び阪神芦屋駅にかけての一带、また、阪神打出駅の周辺では、商業の集積や歴史・文化的資源を活かしながら回遊性を生み出し、にぎわいや活力のある魅力的な都市空間の創出を図ります。
- ・市民との協働により公園の活用を図ることで、地域のコミュニティづくりとともに、地域特性に応じて周辺の商業地との連携を検討し、にぎわいの創出を図ります。
- ・図書館や美術博物館周辺では、南に隣接する芦屋中央公園と連携し、本市の文化に親しむとともに、憩える場としての環境の形成を目指します。また、施設の老朽化を見据え、適切な維持管理を行うとともに、機能分担を踏まえた適正な配置を検討します。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

交通・都市施設等_(4)都市施設等の整備方針

自然・都市環境_(1)自然環境の保全・形成

都市景観_(2)市街地景観の保全・形成

2) 安全で快適な都市基盤の形成

①安全で快適な交通ネットワークの形成

- ・交通の安全性や円滑性、防災性の向上等を図るため、稲荷山線の整備、阪神電気鉄道の立体交差、阪急芦屋川駅の交通結節機能の向上について、調査・研究を重ね検討を進めます。
- ・安全で快適な道路空間の確保、景観や防災性の向上を図るため、「無電柱化推進計画」に基づき、芦屋川沿岸や芦屋中央線などの無電柱化を順次進めます。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

交通・都市施設等_(3)道路の整備方針

都市景観_(2)市街地景観の保全・形成

都市防災_(4)災害に強いまちづくりの推進

②人にやさしい都市空間づくり

- ・徒歩や自転車により、安全・快適に日常的な買い物や散策、健康づくりなどを楽しむことができるよう、利用しやすく人にやさしい道路空間の整備に努めます。
- ・芦屋川沿岸では、潤いのある川辺の散策を楽しむことができる快適な道路空間の形成を図るとともに、交通の安全性・円滑性の観点から踏まえ一方通行化を検討します。
- ・公共施設などにおけるバリアフリー化を推進し、利用性や安全性の向上を図るとともに、特に JR 芦屋駅周辺では、一体的・連続的なバリアフリー化を推進します。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

交通・都市施設等_(3)道路の整備方針

交通・都市施設等_(4)都市施設等の整備方針

自然・都市環境_(1)自然環境の保全・形成

③地域の防災性の向上

- ・高潮や津波、洪水に備えるため、市民への防災情報の発信や意識啓発、防災士や自主防災組織への支援等を行い、地域の特性に応じた地域防災力の向上を図ります。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

都市防災_(4)災害に強いまちづくりの推進

3) 個性と魅力ある都市空間の形成

①良好な住環境の保全・形成

- ・「景観計画」や「地区計画」、「風致地区」、「緑の保全地区」等の運用により保全されてきた良好な住環境を、市民との協働により保全・形成していきます。
- ・歴史と風情が感じられる住宅地景観や、金津山古墳、阿保親王塚、旧松山家住宅松濤館（図書館打出分室）等の史跡・旧跡・歴史的建造物などの地域資源を保全し、継承していきます。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

土地利用_住居系

自然・都市環境_(1) 自然環境の保全・形成

都市景観_(2)市街地景観の保全・形成

②潤いある都市空間の形成

- ・河川や公園・緑地、緑道、街路樹は、都市に潤いをもたらすとともに、美しい市街地景観の構成要素として、適切な維持管理を図ります。
- ・特に芦屋川については、河岸の松や桜の並木と民有地の生垣や樹木及び御影石の石積等が一体となった緑豊かな特徴ある景観、山の緑を背景に河川を軸とした眺望景観を保全・形成します。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

自然・都市環境_(1) 自然環境の保全・形成

都市景観_(1)自然景観の保全・形成

都市景観_(2)市街地景観の保全・形成

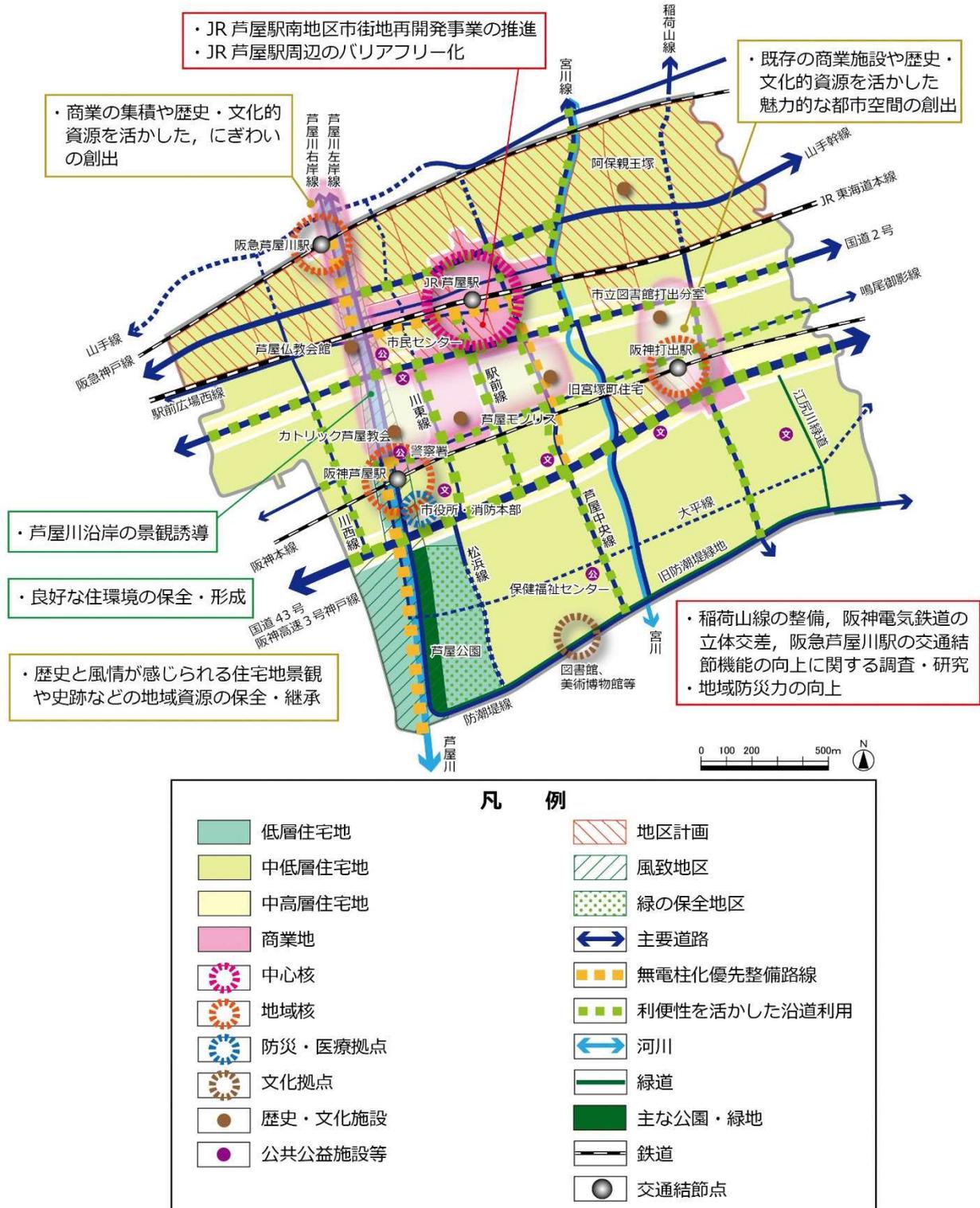


図 中央地域のまちづくり方針図